

# 平成30年度麻しん・風しん予防対策事業 保健医療関係者向け

## 緊急企画講演「風しんの流行と今後の対策」

平成25年に、日本で風しんの流行があったことは記憶に新しいところですが、その後、大きな流行は起きていませんでした。

しかし、本年7月下旬から千葉、東京で風しん患者の届出数が大幅に増加しております。

妊婦が風しんに感染すると、胎児に先天性風しん症候群をおこすおそれがあり、早期に患者を探知し、適切な疫学調査、保健指導をすることがとても重要です。

本研修会では、現在の患者発生状況や今後の課題、対策、予防、感染拡大防止等について、講演を行います。

保健医療関係者の皆様に、ぜひともお聞きいただきたい内容です。  
奮ってご参加ください。

- **日時** 平成30年9月25日（火曜日） 午後3時から午後5時
- **内容** (1) 講演「風しんの流行と今後の対策」  
講師 国立感染症研究所 感染症疫学センター  
感染症対策計画室 主任研究官 神谷 元  
(2) 講演「風しん検査の現状」  
講師 健康安全研究センター  
微生物部ウイルス研究科 科長 新開 敬行
- **会場** 都庁第一本庁舎 25階 103会議室
- **対象** 都内の区市町村担当職員、保健所の職員、医療機関における医師等の医療関係者等
- **定員** 100名（先着順）
- **主催** 東京都福祉保健局
- **事務局** 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課
- **申込** 別添申込書により、FAXにてお申込みください。  
FAX 03（5388）1433 電話 03（5320）4482  
《申込期限》 平成30年9月20日（木曜日）必着